

令和七年茨城県支部俳句大会成績（事前投句）

日時

令和七年十一月十四日

場所

水戸市・茨城県立青少年会館

本部選者

藤本美和子（俳人協会理事「泉」主宰）

藤本美和子特選（本部選者）

後手を組めば老人稻の花

小島千代乃

爽やかや球果あまたの百年樹

関道子

新米の袋はちきれそうに立つ

中島暉子

大竹多可志特選

原発の地やひまはりの群れて咲く

中村孝道

菊日和母はミシンを踏みにけり

平野悦子

みのり田を刈れば遠退く筑波かな

小川みのる

笹川昌子特選

たましひは彷徨ふもののか秋の蝶

矢須恵由

秋灯や蔵書に小さき文字ばかり

坂場俊仁

秋日和色紙掛軸など替へて

大西周

天下井誠史特選

筆跡に現るるひとがら秋ざくら

永山憲子

お風入れ丈は丈五の千手仏

木村芳之

空蝉の蛻く力のままにあり

金子浩子

今瀬剛一特選

いづれまた出会ふ日もあり秋燕

中村孝道

終戦日うつくしき水残りけり

高橋葉子

海鼠壁つづく水路や秋の旅

大山とし子

桜井筑蛙特選

珈琲を濃く立向かふ残暑かな

おにぎりの艶も香りも今年米

老いるほど父に似てくる青蜜柑

小島千代乃

大島良子

坂場俊仁

小川みのる特選

今年米離農の手紙添へられて

坂場俊仁特選

新涼や手のひらにのせ切る豆腐

永山憲子特選

新米の袋はじきれそうに立つ

矢須恵由特選

秋惜しみをり文殻を焼きながら

岡崎桂子特選

重ね来し戦後の日日や法師蟬

松浦敬親特選

満月をこはさぬやうに窓を拭く

草野大作特選

黄昏は誰かの夜明け鳥渡る

大山とし子特選

新米の袋はちきれそうに立つ

大西朋特選

牧閉ぢて大きな空の残りけり

栢木絵津子特選

今年米離農の手紙添へられて

平野悦子特選

秋の灯を寄せればゲラの朱のひかる

和田ゑみこ特選

大仏を立たせてみたし秋の空

井川水衛特選

曼珠沙華白は異端の色なるや

永井弘子特選

あかがねの農夫のかいな稻の波

平野 悅子

永井 弘子

中島 晖子

永山 憲子

高井まさ江

石塚 一夫

砂金 祐年

中島 晖子

永山 憲子

平野 悅子

永山 憲子

山崎マサ子

永山 憲子

平野 悅子

永山 憲子

平野 悅子

永山 憲子

杉山 昭風

小貫 清美

入選作品（1位～18位）

新米の袋はちぎれそうに立つ

今年米離農の手紙添へられて

後手を組めば老人稻の花

図書館へ長き坂道小鳥来る

原発の地やひまはりの群れて咲く

秋灯や蔵書に小さき文字ばかり

新涼の風満帆に帆曳船

古民家の土間ひんやりとちちら虫

杜甫が好き李白が好きと新走り

代代の暖簾護りて新豆腐

平凡な一日もよしリンゴ剥く

ひぐらしにつつまれてゐる端居かな

回廊の屋根は茅葺き添水鳴る

廃校に子等の似顔絵秋高し

オカリナの音透き通る夕花野

炎天や鱗かがやく地引網

畦道に並ぶ軽トラ豊の秋

中島 暉子

平野 悅子

小島千代乃

笛川 昌子

中村 孝道

坂場 俊仁

横田 和己

大山 としげ

鳥羽田重直

山田みき子

大木 明子

中村 孝道

印南 美都

眞家 舜風

北浦 残月

小山 吾浪

山本 慶子